

平成 29 年 7 月 1 日現在
世帯数 2,821 世帯
男 3,387 人
女 3,493 人
総人口 6,880 人

安心・安全な道を目指して

現状道路で災害時対応は可能か

市島立出張所に車で行かれた際に道路の狭隘さを感じたことはないでしょうか。出張所、公民館、体育館は災害時に拠点となる施設です。救援物資や資材の輸送、支援者の受入れ等に車同士のすれ違いが困難な現道では円滑に活動ができるとは残念ながら思えません。



拠点へのアクセスは不測の事態に備え少なくとも2方向からの道路が必要と思えます。

2 m 75 cm の 2 車線、2 m 50 cm の片側歩道、路肩 50 cm の標準幅員 9 m が必要と思えます。次の 2 区間が必要な整備区間でしょう。

一つは大庭交差点から出張

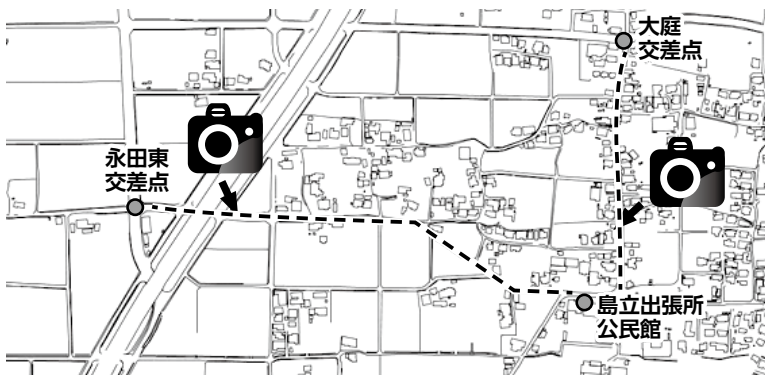


位置し、交差点から拠点までは重要な区間です。

二つ目は県道新田松本線永田東交差点から出張所に至る区間です。

拡幅改良を計画した場合、前者は道路脇に水路が平行する部分があり退避場がなく幅員が不十分で建物が道路に近接する宅地が連続しています。拡幅用地上に建物等の補償物件が多数存在するため補償が必要となり交渉に不測の時間を要し、短期間での完成は望めないでしょう。

後者は長野道を箱型函渠で



潜り 2 車線整備された部分から先の拡幅改良となります。北側は宅地、南側は水田となっています。この区間は南側に拡幅すれば補償は比較的容易で、こちらを優先整備し前者を次期整備としたら良いでしょう。

松本市では今年度、第 6 次道路整備五箇年計画策定が行われます。今号館報の内容が反映されれば幸いです。課題を踏まえ、如何なる道路整備方針が策定されるのか関心を寄せたいと思います。

島立小学校運動会

6月3日、青空が広がる強い日差しの下、島立小学校グラウンドで、開校130周年目の運動会が行われました。例年、秋に実施されていた運動会でしたが、本年度は6月の開催となり、子供達は、『努力して流した汗は勝利へと』のスローガンを掲げ、大勢の地域の皆さんが見守る中、一杯、力を出し切っていました。

開校130周年の記念運動会にふさわしく、大玉送りにPTAの皆さんが、児童と一緒に参加し、最後の種目の全校ダンスでは、応援の方々も児童が作った旗を振り、島立民が一体感に包まれ、130周年目の運動会は、無事、幕を閉じました。



組体操



大玉送り



全校による校歌ダンス



花いっぱい運動

花いっぱい運動は「社会を美しく・明るく・住みよくする」、また花を通じて人々の気持ちを豊かにとの思いから昭和27年4月8日に始まりました。最初は小さかったこの運動も、今では発祥の地「松本」から全国に広がり、今年松本市で花いっぱい運動の第57回全国大会が開催されました。

それに合わせて島立地区内でも花の苗の植込みや草刈りなどが行われました。



堀米

堀米町会は、200余株の花を松本インターから合庁入口交差点までの38個のプランターに町会役員・地元有志数名で6月10日までに全てを植えました。床尾町会長は「ここ数年、水やりの問題で中断していた植栽を今回の花いっぱい運動を機にまた復活できれば」と話されました。

小柴

6月11日朝7時より国道158号小柴交差点周辺の草刈りと樹木の伐採、花の植込みが行われました。1時間ほどで公民館周りもきれいな

町区

6月3日には、国道158号町区東交差点横の三角地の花壇で、花の苗の植込みが行われました。

ここは島立園芸委員会の皆さんが管理されていて、当日は11名が植え替えや草取りに汗を流しました。

手入れの行き届いた花壇は、今年も大勢の人の目を楽しませてくれることでしょう。

北栗

恒例の栗の実会による公民館前の春の花壇づくりが6月3日に行われました。

当日は栗の実会会員の他、応援の住民の皆さんも加わり、約25人が作業にあたり、サルビアなどを植え付けたプランター約50個を玄関前に飾りました。これから夏にかけて住民や通行者の目を楽しませてくれるでしょう。なお、除草や水などの管理は男性会員が当番で行っています。

松本市文書館講座会場が島立公民館へ移転

平成10年の「松本市史」の完結以来、それをさらに深める講座として、市民に親しまれて18年間続いている文書館講座は平成26年に当初の芝沢支所跡から鎌田に新築された新文書館に会場を移しました。が、さらに充実した施設とするために新資料庫が建築される事になり、工事の都合で今年度は会場が島立公民館へ移ることになりました。

そして、移転してから1回目の講座「島立の歴史」が6月21日に開かれました。当日はあいにくの雨でしたので、どのくらいの方が来られるか、私たちも気になりましたが、約70名が参加し、大会議室もほぼ満員の盛況でした。

講師の小松芳郎先生(前文書館長)は旧島立村の江戸後期から大正期の歴史を中心に、当時の住民により記録された古文書のいくつかを使ってその歴史を語られ、また村出身の著名な人物の何人かについても紹介されました。そして当時の村民たちが記した生の記録、文書などを保存することの大切さについても声を大にして主張されました。こうした講座が私たち島立の住民にとって自分たちが生活する地域を改めて知り、地域を考える一つの契機になることが期待されます。

時間があれば地域の文化などについてもお話をお聞きしたいところでしたが、これはまたの機会を待つことにしましょう。



体育協会草取り

6月18日、島立運動ひろばと島立体育館周辺で、島立地区体育協会による草取りとごみ拾いが行われました。体育館の利用団体等も参加して毎年2回行われているこの活動



によって、周辺はきれいに保たれ、気持ちよく利用ができる環境が整えられています。